

熊本地震に際し、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
まちの一員として復興と一緒にめざしていきたいです。



熊本大学工学部 まちなか工房

第118回 9月のまちづくり学習会

「殿 街が. . .」

まちなか工房では6月より災害からの復興に関する学習会をシリーズで開催しています。

第3弾は新町古町地区の暫定レポートと復興計画。熊本地震から10月には半年を迎える今、復旧から復興への段階へ歩みを進める時期となっています。今月の学習会では、被災直後から現地に入り地元の目線で復旧復興の支援に当たっている当研究員の富士川が、新町古町地区の復興計画について話題提供を行い、議論を深めます。城下町の佇まいを伝える町屋をはじめとする多くの歴史的建造物が、個人の負担を超える大きな損傷を受け、解体もやむなしという状況。『熊本城は残っても城下町は消える、』というきわめて深刻な瀬戸際に立たされています。個々の文化遺産を保全し、活用を促進、地区のまちづくりを推進することで、『Build Back Better 創造的復興』を達成することが求められています。是非まちの皆様にもご参加いただきたいと存じます。

(Build Back Better)とは、自然災害をグローバルな視点から捉え直し環境に配慮し、社会の回復力を促し、災害を軽減する対策を盛り込み、持続可能なコミュニティを再生する試みである。

パネリスト 富士川一裕 氏 (まちなか工房特別研究員)
コメンター NPO法人日本都市計画家協会理事 数名
テーマ 新町古町城下町復興計画 (暫定レポート)

日時 2016年 9月29日(木)
18:30~20:00

場所 まちなか工房

熊本市中央区南坪井町1-5
上通並木坂サンコスメディオビル2階

入場
無料

■まちづくり学習会について

まちなか工房では月に一度、中心市街地関係者や市民を対象に『まちづくり学習会』を開催しています。県内外から専門家や実務経験者を招いて講演を開き、中心市街地活性化策についてさまざまな意見交換をしています。学習会終了後に、講師の方を囲みささやかなワンコイン懇親会も行っています。まちづくり学習会に参加ご希望の方はお問い合わせください。御案内を e-mail または FAX にて差上げます。

第117回学習会の様子



■過去の学習会

- 117回 「中心市街地熊本地震からの復旧・復興について 座談会」 下通繁栄会事業部長/長江浩史氏・まちなか工房/増山晃太
- 116回 熊本中心市街地熊本地震からの復旧・復興について座談会 上通商栄会会長河島一夫氏 下通繁栄会会長松永和典氏
- 115回 「JR九州のまちづくり」九州旅客鉄道株式会社 中村勇氏
2016.4.15 「ライブチッヒの都市計画と公共交通のデザイン」→地震発生の為、残念ながら急きょ中止しました。
- 114回 「最先端ライフスタイル創造都市アメリカ オレゴン州 ポートランド研修視察報告」 まちなか工房スタッフ
- 113回 「我が故郷上通り」 熊本大学長 原田信志先生

共催: 文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「減災型地域社会のリーダー養成プログラム」

お問い合わせ
まちなか工房 下田・岡村
e-mail: machi-kobo@cotton.ocn.ne.jp
tel/fax: 096-326-9502